

IBM® Analytical インストール ガイド UNIX での Decision Management 7

製品のインストールと設定

IBM® Analytical Decision Managementをインストールする前に、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services4.2.1または5とIBM® SPSS® Modeler Server15を含めて全ての必須ソフトウェアをインストールして設定する必要があります。システム必要条件、サポートされているアプリケーションサーバー、データベース、および環境はこれらの必須ソフトウェアに依存します。対応バージョンおよびシステム要件の詳細については、<http://www.ibm.com/support> のIBMテクニカルサポートサイトおよび必須ソフトウェアの文書を参照してください。

最新のシステム必要条件情報については、IBMテクニカルサポートサイトのSupport Resourcesの下のSoftware product compatibility reportsの使用を推奨します。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/prodguid/v1r0/clarity/index.jsp>

IBM SPSS Collaboration and Deployment Services5とIBM SPSS Modeler Server15

IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 5とSPSS Modeler Server 15を使用する際は、IBM Analytical Decision Managementが、以下の例外を除いて、それらの製品のインストールガイドに記述されている全ての環境をサポートしています：

- iSeriesはサポートされていません
- 最適化（CPLEXノード）はSystem z用のLinuxまたはHPUXではサポートされていません。
- Apple Safariはサポートされていません。

IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 4.2.1とIBM SPSS Modeler Server 15

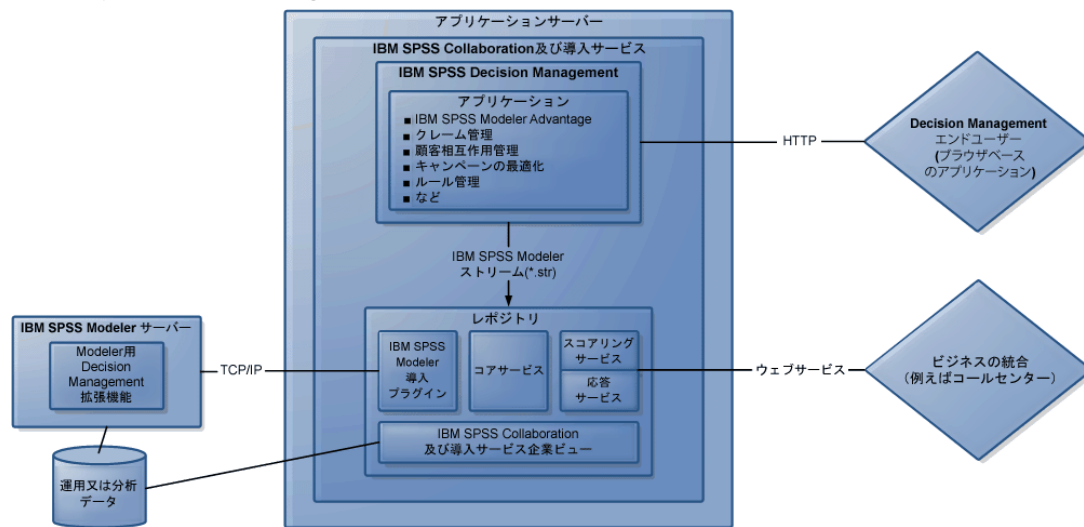
IBM SPSS Collaboration and Deployment Services4.2.1とSPSS Modeler Server 15を使用する際は、IBM Analytical Decision Managementが、以下の例外を除いて、それらの製品のインストールガイドに記述されている全ての環境をサポートしています：

- iSeriesはサポートされていません
- Solaris 9はサポートされていません
- 最適化（CPLEXノード）はSystem z用のLinuxまたはHPUXではサポートされていません。
- WebSphere 6.1はサポートされていません。
- JBoss 5.1と4.2.xはサポートされていません。
- Oracle WebLogic 11g (10.3.1)と10はサポートされていません。
- Apple Safariはサポートされていません。

前提条件となるソフトウェアのインストール後に、このドキュメントの指示に従って IBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesと同じマシン上に IBM Analytical Decision Management をインストールします。製品をインストールするユーザーは、オペレーティング システムにおいてソフトウェアをインストールする権限、およびインストール先ディレクトリへの読み書き権限が必要です。インストール後、シンクライアント製品は、ネットワーク接続された任意のマシンの Web ブラウザからアクセスできます。

IBM Analytical Decision Management ファイルは IBM SPSS Collaboration and Deployment Services インストール ディレクトリ（たとえば、`/opt/IBM/SPSS/Deployment/5.0/Server/Server¥components¥decision-management`）。

図 1-1
IBM Analytical Decision Management のインフラストラクチャ



前提条件となるソフトウェアのインストール

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services をインストールします。インストールの手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。
- ▶ IBM® SPSS® Modeler Server をインストールします。IBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesと同じマシンにも、違うマシンにもインストールすることができます。ただし SPSS Modeler Server は IBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesで使用されているアプリケーション サーバーと同じタイム ゾーンで稼働する必要があります。インストールの手順については、IBM® SPSS® Modeler のマニュアルを参照してください。
- ▶ SPSS Modeler Collaboration and Deployment Services Adapterをインストールしてください。このプラグインは SPSS Modeler Deployment DVD に収録されており、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているのと同じマシンにインストールする必要があります。インストールの手順については、SPSS Modeler のマニュアルを参照してください。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager クライアント内の SPSS Modeler Server に、サーバー定義および資格証明をセットアップします。

IBM Analytical Decision Management のインストール

以前のリリースから移行する場合は、IBM® Analytical Decision Management インストールが新しいバージョンをインストールする際に、自動的に以前のバージョンをアンインストールします。カスタムアプリケーションテンプレートをお持ちの場合、予防策としてインストール前にコピーを作成しておくことを推奨します。新しいリリースに移行する際の詳細については、カスタムアプリケーションの更新に関するマニュアルを含めて、アプリケーションデザイナーのガイドの第 6 章をご参照ください。

IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services がインストールされているのと同じマシンに IBM Analytical Decision Management をインストールする必要があります。

- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンにログオンします。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのダウンロード
IBM Analytical Decision Management インストールを実行します。例えば、`./SPSS_Decision_Mgmt_70_hpux.bin`。

注:

- インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。
- System Z 向けの Linux にインストールする場合には、Java の実行形式ファイルのパスを、`LAX_VM` パラメータと指定する必要があるかもしれません。例えば：

```
./SPSS_Decision_Mgmt_70_zlinux.bin LAX_VM  
/opt/IBM/WebSphere/AppServer/java/bin/Collaboration_and_Deployment  
_Services/5.0.
```
- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services に製品をインストールします。

DVD からのインストール

- ▶ IBM Analytical Decision Management インストール ディスクを挿入します。

- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_70_hpux.bin`。

注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーをローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。
- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services に製品をインストールします。

IBM SPSS Modelerの拡張機能のインストール

IBM® SPSS® Modeler の拡張機能は、以下の SPSS Modeler 製品をホストし、かつ IBM® Analytical Decision Management または IBM® SPSS® Modeler Advantage を使用するすべてのマシンにインストールする必要があります。

- IBM® SPSS® Modeler クライアント
- IBM® SPSS® Modeler Server
- IBM® SPSS® Modeler Batch
- IBM® SPSS® Modeler Solution Publisher

拡張機能は、IBM Analytical Decision Management および IBM SPSS Modeler Advantage で使用されるルールと最適化ノードのサポートを追加するために必要であり、また例で使用されるサンプル データ ファイルをインストールするために必要です。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。
- ▶ 1 つ以上の SPSS Modeler コンポーネントがインストールされているマシンにログインします。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。

- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのダウンロードSPSS Modeler拡張インストールを実行します。たとえば、./SPSS_Decision_Mgmt_70_Modeler_Lib_hpux.bin。

注：インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

DVD からのインストール

- ▶ IBM Analytical Decision Management インストール ディスクを挿入します。
- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのSPSS Modeler拡張インストールを実行します。たとえば、./SPSS_Decision_Mgmt_70_Modeler_Lib_hpux.bin。

注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーをローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、SPSS Modeler 拡張機能をインストールします。

前述の SPSS Modeler 製品のいずれかがインストールされており、かつIBM Analytical Decision Management または IBM SPSS Modeler Advantage を使用するすべてのマシン上でこの手順を繰り返してください。

拡張機能とともに、サンプルデータがSPSS Modeler Server Demos ディレクトリにインストールされます。このディレクトリのサンプル データは、IBM Analytical Decision Management アプリケーションで使用する際にアクセス可能です。

予めビルドされた IBM Analytical Decision Management アプリケーションのインストール

IBM® Analytical Decision Management で利用可能な事前にビルドされたアプリケーションには以下のものがあります。

- IBM® SPSS® Modeler Advantage
- IBM Analytical Decision Management 顧客アプリケーション (IBM® Analytical Decision Management for Customer Interactions および IBM® Analytical Decision Management for Campaign Optimization を含む)
- IBM® Analytical Decision Management for Claims
- IBM® SPSS® Rules Management (顧客およびクレーム アプリケーションと併せてインストール)

事前にビルドされたアプリケーションをインストールする前に、前述した IBM Analytical Decision Management および IBM® SPSS® Modeler の拡張機能が必ずインストールされていることを確認します。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンにログオンします。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから目的のアプリケーションとプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_70_Claims_hpux.bin`。
注：インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。
- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従い、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services にアプリケーションをインストールします。

DVD からのインストール

- ▶ IBM Analytical Decision Management インストール ディスクを挿入します。
- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから目的のアプリケーションとプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_70_Claims_hpux.bin`。
注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーをローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。
- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従い、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services にアプリケーションをインストールします。
- ▶ インストールする各アプリケーションについて、この手順を繰り返してください。

各アプリケーションで使用するためのサンプル データおよびストリーム ファイルもまたも利用できます。これらのコンポーネントの詳細については、ユーザー ガイドの「管理アプリケーション」の欄を参照してください。

IBM SPSS Modeler Server の名前と資格証明の設定

IBM® Analytical Decision Management をインストール後、IBM® SPSS® Modeler Server で使用するためのサーバーの名前と資格証明を設定する必要があります。サーバーの名前と資格証明は、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager クライアント ソフトウェアで定義されています。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーおよび SPSS Modeler Server を起動します。
- ▶ Deployment Manager クライアント ソフトウェアを開き、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Repository 接続にログオンします。
- ▶ リソース定義で、資格証明を展開し、SPSS Modeler Server の資格証明で使用される名前をメモに記録します。その後、サーバーを展開し、SPSS Modeler Server の定義で使用される名前をメモに記録します。
- ▶ ブラウザで IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager (セットアップとシステム管理タスクを実行するためのシンクライアント インタフェース) を開きます。

`http://hostname:port/config`

hostname は、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンの名前または IP アドレスで、port は、アプリケーション サーバーのポート番号です。IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 管理者アカウントの資格証明を使用してログオンします。

- ▶ 設定で、IBM Analytical Decision Management セクションに移動します。使用する SPSS Modeler Server 接続の名前および上述の資格条件を入力します。名前は、Deployment Manager クライアントで定義されている名前と完全に一致する必要があります。

Deployment Managerで定義された複数のSPSS Modeler Server資格証明がある場合、ここでも複数の資格証明を指定できます。次に IBM Analytical Decision Management ユーザーがログオンすると、サーバーがリスト内の 1 番目の資格証明で、ユーザーに権限があるか確認し、適切な権限のある資格証明が見つかるまで、リスト内で順に処理を進めます。ユーザーが順番付けられたリスト内でどの資格証明に対しても権限がない場合、そのユーザーは IBM Analytical Decision Management を使用できません。

例えば、modeler1、modeler2およびmodeler3という名前で定義された3つの異なるSPSS Modeler Server資格証明がある場合、ブラウザベースのDeployment Managerで次の項目を入力できます。

modeler1、modeler2、modeler3

SPSS Modeler Server資格情報はOSユーザーIDおよびパスワードに対応し、SPSS Modeler Server機へのファイルアクセスを管理するためのOSセキュリティーシステムの使用を可能にします。例えば、あるユーザーにはファイルの読み取りのみのアクセスを与え、他のユーザーには書き込みアクセスを与えたいかも知れません。

セキュリティに関する検討事項については、セキュリティに関する検討事項 p. 13 を参照してください。

- ▶ [設定]をクリックして保存し、ログアウトします。

ローカルILOGの使用

IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Managerでは、**新たな外部ルールを追加ダイアログボックス**を使用して、IBM® Analytical Decision Managementで使用可能なILOGルールへの参照を定義付けすることができます。以前は、これらのルールはウェブサービスを通してのみアクセスすることができました。このリリースによって、ILOGシステム内でローカルルールを参照することが可能になりました。

ILOGシステムからのローカルルール参照を計画する場合、いくつかのインストールおよび設定ステップが必要です。詳細な説明とマニュアルに関しては、IBM Analytical Decision Managementアプリケーション設計者ガイド5章のルール実行サーバのセットアップセクションまたは**新たな外部ルールを追加ダイアログボックス**で使用可能なヘルプをご参照ください。

IBM WebSphere Operational Decision Management V7.5.0.2はIBM Analytical Decision Managementと共にローカルILOGルールの使用に必須です。

Oracle WebLogicサーバー用にJAXBのインストールと事前設定

Oracle WebLogicサーバーをご利用の際は、IBM® Analytical Decision Managementを導入するには、Java Architecture for XML Binding (JAXB) バージョン2.1がアプリケーションサーバーと一緒にインストールされている必要があります。

- IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services
インストールフォルダー（たとえば、C:\Program Files\IBM\SPSS\Deployment\5.0\Server\components\modeler\ext\lib\spss.rules\libの下）から、JAXB jarファイルをコピーします。コピーするファイルは、どのアプリケーションサーバーバージョンを使用しているかに依存します。詳しくは以下のマニュアルを参照してください。
- JAXB のインストールは、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のインストール後、IBM Analytical Decision Management を実行する前に行う必要があります。
- 必ず JAXB version 2.1 を使用してください。これは重要な点ですので必ず確認してください。古いバージョンの JAXB を使用した場合、破損したファイルが保存されたり、その他の予期しない結果を招くことがあります。
- JAXB インストール後に、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを再起動します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。アプリケーションサーバーバージョンによって、以下に詳述されているように追加のステップが必要です。

Oracle WebLogic Server 11g (10.3.5)

- ▶ WebLogicがJRockitで実行されている場合、サーバーはJVMのパラメーターとして-XstrictFPで起動するか、異なるJVMに切り替える必要があります。これは、JRockitがNaNを含む式に間違った数値結果を生成することを防ぐためです。

Oracle WebLogic Server 10 (10.3.0)

- ▶ ローカル ファイル システム (たとえば、`/opt/Oracle/WL10/wlserver_10.0/domain1/jaxb-jars`) にフォルダを新規作成してください。
- ▶ 次の 3 つのファイルを前の手順で作成した新しいフォルダにコピーしてください。以下のファイルは作成したフォルダにのみ入れてください。Oracle WebLogic Server `[domain]/lib` にコピーしないでください。
 - `jaxb-api.jar`
 - `jaxb-impl.jar`
 - `jsr173_1.0_api.jar`
- ▶ 次の `java.endorsed.dirs` Java システム プロパティをスクリプトの `[domain]/bin/setDomainEnv.cmd` の `JAVA_OPTIONS` に追加します。値を 3 つの jar ファイルを含む作成した新しいフォルダの完全な名前に設定します。

```
JAVA_OPTIONS="${JAVA_OPTIONS} -Djava.endorsed.dirs=/opt/Oracle/WL10/wlserver_10.0/domain1/jaxb-jars"
```

UNIX の場合は、代わりに `.sh` ファイルを編集してください。セミコロン (`;`) の代わりにコロンの (`:`) を使用すること。正確な構文は UNIX シェルによって変わる場合があります。

- ▶ WebLogic が JRockit で実行されている場合、サーバーは JVM のパラメーターとして `-XstrictFP` で起動するか、異なる JVM に切り替える必要があります。これは、JRockit が NaN を含む式に間違った数値結果を生成することを防ぐためです。

製品の起動

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーおよび IBM® SPSS® Modeler Server が起動されていることを確認します。起動する必要がある場合は、数分待ってから、サポートされている Web ブラウザで IBM® Analytical Decision Management を起動します。

`http://hostname:port/DM`

`hostname` は、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンの名前または IP アドレスで、`port` は、アプリケーション サーバーのポート番号です。IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 管理者アカウントの資格証明、または IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager で設定されているその他のユーザー資格証明を使用してログインします。

注:

- サンプル アプリケーションを少なくとも 1 つインストールするか、または独自の設定を行うまでは、ログオンできません。アプリケーションのカスタマイズと設定の詳細については、『アプリケーション デザイナ ガイド』を参照してください。
- Deployment Manager内で1つ以上の管理ユーザーまたはグループを適切に設定するまでは、IBM Analytical Decision Management管理者としてログインできません。手順については、インストールした既製アプリケーションのユーザーズガイドを参照してください。

でのサイレント インストールの実行

サイレント、つまり無人のインストールは、グラフィカル インターフェースを表示せず、ユーザーの介入も不要です。サイレント インストールを実行するためには、最初にインストーラ プロパティ ファイルを作成する必要があります。

注：これらの手順は、上記のインストールIBM Analytical Decision Managementトピックに記述された標準インストール手順の代替法としての、IBM® Analytical Decision Managementのサイレント インストールの構成と実行のステップを説明しています。IBM® SPSS® Collaboration and Deployment ServicesまたはIBM® SPSS® Modeler Serverのサイレント インストール実行に関する情報は、これらの製品のマニュアルをご覧ください。

インストーラ プロパティ ファイルの作成方法

コマンド ラインからインストール実行可能ファイルを `-r` スイッチを付けて実行し、インストーラ プロパティ ファイルを作成します。インストーラにこのスイッチを付けて実行すると製品はインストールされません。その代わりにインストーラは、ユーザーの選択を”記録”したインストーラ プロパティ ファイルを作成します。

- ▶ インストール実行可能ファイルを使用中のコンピュータの DVD のルートにある `/DecisionManagement/<OS>` からコピーしてください。
- ▶ インストール実行可能ファイルに `-r` スイッチを付けてコマンド ラインから実行します。以下は、Windows の場合の例です。

```
install_file.exe -r
```

ここで `install_file.exe` は、実行するファイルの名前です。

Linux の場合：

```
sudo ./setup_file.bin -r
```

ここで `setup_file.bin` は、実行するファイルの名前です。

- ▶ ユーザーのインストール方法を選択します。完了すると、インストーラはインストーラ プロパティ ファイル、`installer.properties` を、インストーラを実行した場所に作成します。

図 1-2
インストーラ プロパティ ファイルのサンプル

```
# Tue May 15 13:21:13 CDT 2012
# リレー機能出力
# -----
# このファイルは InstallAnywhere のリレー機能により作成されました。
# これには、パネル、コンソールまたはカスタム コードによって設定された変数が含まれます。

#ライセンスが受理された場合
#-----
LICENSE_ACCEPTED=TRUE

#インストール フォルダの選択
#-----
USER_INSTALL_DIR=C:\Program Files\IBM\SPSS\Deployment\5.0\Server

# 管理者アカウント証明書
#パスワードは符号化されます-- 手動で変更しないでください
#-----
VAR_RPM_USER=admin
VARIABLE_RPM_PASSWORD=9C9CD6C2DBE392C2
```

複数の製品やアプリケーションをインストールする場合は、それぞれの別個の installer.properties ファイルを作成しなければなりません。

サイレント インストールの実行方法

- ▶ ターミナル アプリケーションを使用して、インストール実行可能ファイルを、-f スイッチに引用符で囲ったインストーラ プロパティ ファイルの場所を付けて指定して実行します。以下は、Windows の場合の例です：

```
install_file.exe -f "c:\temp\installer.properties" -i silent
```

ここで install_file.exe は、実行するファイルの名前です。

Linux の場合：

```
sudo ./setup_file.bin -f "/root/installer.properties" -i silent
```

ここで setup_file.bin は、実行するファイルの名前です。

複数の製品やコンポーネントをインストールする場合は、1つが完了してから次を開始してください。サイレント インストールは、他がまだバックグラウンドで実行されている間に実行されると、エラーが発生します。

サンプルファイル

ユーザーズ ガイドで紹介している事例の再現に使用可能な IBM® Analytical Decision Management には、データ及び他のサンプルファイルが付属しています。

データ

インストール時に、多数のサンプル データ ファイルが IBM® SPSS® Modeler Server ¥Demos ディレクトリ（たとえば、C:\Program Files\IBM\SPSS\ModelerServer¥15¥Demos）にインストールされます。これらのファ

イルはおそらく事前構築されたサンプル アプリケーションで使用され、以下を含みます：

- insurance_claim_data.txt
- insurance_fraud_data.txt
- bank_customer_data.txt
- bank_response_data.txt
- retail_purchase_data.txt
- customer_summary_data.txt
- customer_contact_history.txt

これらのデータファイルを使用するサンプル・アプリケーションファイル、モデル、およびルールは上記のデフォルトの格納場所を前提としています。データ ファイルが別のドライブまたは場所にインストールされた場合は、データ ソース パスをそれに応じて更新する必要があります。

サンプル

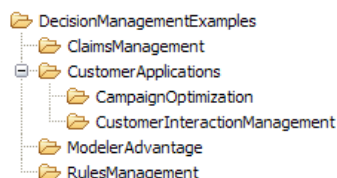
多数のサンプル・アプリケーションファイル、モデル、およびルールが、事前構築されたIBM® Analytical Decision Managementアプリケーションと一緒に使用できるように提供されます。サンプルは、アプリケーションのインストールディスクの¥Demoディレクトリにパッケージ化されているか、ダウンロード可能なファイルとして提供されます。以下のステップに従って、事前にビルドされたアプリケーション用のサンプル ファイルを IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Repository にインポートします。

- ▶ **DVD.DecisionManagementExamples.pes** ファイルをDVDの¥Demoフォルダーからコピーして一時的な保存場所に保管します。

の要素または

- ▶ **ダウンロードファイル**。SPSS_Decision_Mgmt70_demo.zip ファイルを一時的な場所に保存して抽出します。
- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager を開き、コンテンツ サーバー接続にログオンします。
- ▶ コンテンツ・レポジトリフォルダーを右クリックして**インポート**を選択します。
- ▶ インポート・ダイアログボックスにて、**参照**をクリックして、以前に一時的な保存場所にコピーした**DecisionManagementExamples.pes**ファイルを選択します。[OK]をクリックします。
- ▶ インポート衝突ダイアログにて、**OK**をクリックします。インポートが完了したら、IBM Analytical Decision Managementにて開く事の出来る事例プロジェクトを含んでいる以下の新しいフォルダーを確認します。

図 1-3
芸術品 サンプルのフォルダー



サンプル のアプリケーション ファイル、モデル、ルール等はすべて、IBM® SPSS® Modeler Server ¥Demos ディレクトリ (たとえば、C:\Program Files¥IBM¥SPSS¥ModelerServer¥15¥Demos)にインストールされることを前提としています。データ ファイルをそれ以外のドライブまたは場所にインストールする場合は、ローカル構成のデータ ソース パスを変更する必要があります。

セキュリティに関する検討事項

このセクションには、IBM® Analytical Decision Management のインストールおよび設定のためのセキュリティ関係の情報が記載されています。

- 大半のウェブ ブラウザは現在、HttpOnly クッキーというセキュリティ機能をサポートしています。HttpOnly 機能をセッション クッキー生成時に使用すると、クライアント側のスクリプトが保護されたセッション クッキーにアクセスするリスクを軽減できます。Java の制限によりIBM Analytical Decision Management は現在、HttpOnly 機能を使用せずにセッション クッキーを生成します。このセキュリティ機能を利用するには、セッション クッキー が HttpOnly 機能を指定して生成されるよう、アプリケーション サーバーを設定する必要があります。お使いのアプリケーション サーバーの文書を参照してください。
- IBM Analytical Decision Management でウェブ ブラウザからサーバーに転送される際、パスワードは暗号化されません。このことが組織にとって問題の場合は、セキュア ソケット レイヤー (SSL) を使用してください。SSL の使用に関する詳細については、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services の文書を参照してください。
- ブラウザベースのIBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Managerで複数の組みのIBM® SPSS® Modeler Server資格証明を指定した場合 (IBM SPSS Modeler Server の名前と資格証明の設定 p. 7 を参照)、サーバーがリスト内の 1 番目の資格証明で、ユーザーに権限があるか確認し、適切な権限のある資格証明が見つかるまで、リスト内で順に処理を進めます。管理者は、リスト内の資格証明の順序に気をつける必要があります。SPSS Modeler Server上のデータへの最小制限アクセスを可能にする資格情報は最初に表示されるべきです。SPSS Modeler Server資格情報はOSユーザーIDおよびパスワードに対応し、SPSS Modeler Server機へのファイルアクセスを管理するためのOSセキュリティーシステムの使用を可能にします。例えば、あるユーザーにはファイルの読み取りのみのアクセスを与え、他のユーザーには書き込みアクセスを与えたいかも知れません。
- IBM Analytical Decision Management 7 は、新しいファイル アップロード機能を搭載しています。有効にすると、Data Source Editor で、ローカルのデータ ファイルを SPSS Modeler Server にアップロードできます。詳細については、ヘルプの [データ ソースの管理] セクションまたはユーザーズ ガイドを参照してください。

管理者は、アップロードできる最大ファイル サイズの制御や、この機能の有効化または無効化を併せて行うことができます（デフォルトでは無効）。大きすぎるファイルをアップロードさせたくない場合は、最大ファイル サイズを許容可能なサイズに設定する必要があります。

ブラウザベースの IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager を開き、設定の下で、**IBM Analytical Decision Management** に移動します。[**最大アップロードサイズ**] をクリックして、ユーザーがアップロードできる最大ファイル サイズをキロバイト単位で設定します。ユーザーがデータ ファイルをアップロードできないようにするには、値を **0** に設定します。

ファイル アップロード機能を有効にする前に管理者は、適切なセキュリティ方法が有効か確認する必要があります。ユーザーに SPSS Modeler Server に対する適切なアクセス権限があるかを確認する必要があります。例えば、システム ファイルに対するアクセス権を除外して、ユーザーが潜在的なウイルスでシステム ファイルを防ぎたいと思う場合があるかもしれません。

アクセス機能

アクセス機能は、運動や視覚の制限など、情報技術製品をうまく活用できないユーザーを支援します。IBM は、年齢や能力に関係なく、誰もが利用できる製品を提供するよう努めています。本製品では、標準的なブラウザ ナビゲーション キーを採用しています。

IBM® Analytical Decision Management はブラウザ ベースのアプリケーションのため、たとえば、視覚障害者のような障害者向けのアクセシビリティ オプションは、ブラウザの設定で制御します。キーボード ショートカット、スクリーン リーダー等のユーザー インタフェースのアクションについての詳細は、お使いのウェブブラウザの文書を参照してください。

ベンダー ソフトウェア

IBM Analytical Decision Management には、IBM 使用許諾書で保証されていない一部のベンダー ソフトウェアの使用が必要になる場合があります。IBM では、これらの製品のアクセス機能については明言しません。ベンダーの製品に関するアクセス機能情報については、ベンダー にお問い合わせください。

IBMとアクセス機能

IBM Noアクセス機能に対するコミットメントの詳細については、[IBM Human Ability and Accessibility Center](#) にお問い合わせください。

ヘルプ アクセス機能

画面読み上げソフトウェアの追加サポートを提供するために、代替バージョンのユーザーヘルプシステムが製品にインストールされています。このバージョンのヘルプに切り替えるには、バッチ ファイルを実行して既存のヘルプ システムを、画面読み上げソフトウェアが効率的に読み上げられる形式に変換する必要があります。代替バージョンでは、目次は右側にあり、ヘルプ トピックは左側に表示されます。

画面読み上げソフトウェアのサポートを有効にするには

- ▶ サーバー上のヘルプのルート ディレクトリ（たとえば、C:\Program Files\IBM\SPSS\Deployment\5.0\help\en\DecisionManagement\ClaimsManagement\userhelp）に移動します。
- ▶ 画面読み上げソフトウェアに適した形式に切り替えるには、バッチ ファイル `format-for-screen-readers.bat` をダブルクリックして実行します。
デフォルトの形式に戻すには、バッチ ファイル `restore-default-format.bat` を実行します。

アクセス機能

注：IBM Analytical Decision Management 7 Information Center は、アクセス機能が有効です。